

Frente

三重県男女共同参画センター

フレンテみえ

フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

vol.65
2016.5

「我が道を往く」



大特集
Report!

I V A N 講演会

I V A N T I T Y 「アイバンティティ」

これが私の生きるRUNWAYのみち

予 告

- フレンテまつり
with イザ!カエルキャラバン!
- 三重県内
男女共同参画連携映画祭
2016など

新連載

- 女性と音楽
- ジェンダーって何?



IVANTITY

～これが私の生きる RUNWAY～



日時:平成28年5月1日(日)13:30～15:00
会場:三重県文化会館中ホール

ゴールデンウィークの真ただ中、ファンファーレ講演会にお越しいただいたのは、モデル・タレントのIVANさん。前半はIVANさんのここまでの半生、幼い頃に感じた体への疑問、自分の性を必死で隠し、心無い差別も受けた中学時代、“男”を演じざるをえなかった高校からメンズモデル時代、そして失踪…。

ここではそれらの経験もふまえて感じる、メディアではなかなかお話しただけでないセクシュアルマイノリティの現状やこれから、そして家族への愛などについて語られた、講演会後半のお話をお届けします。



メディアに出て感じること、私が思う “セクシュアルマイノリティ”^{※1}のこれから

(失踪しドミニカ共和国で過ごしたのち)

芸能界に戻る決意をして、事務所探しをはじめたんですね。それで今の事務所の代表と知り合って、最初に言われたのは「アイバンは自分の性を世に出す気はない？」って。そこで相談をして番組に出ることになった。「私アイバンはパコレに出て…トップモデルであるにもかかわらず…オネエであることを反省しに…」あー!みたいな。最初はぶっちゃけ抵抗があったんですけど、でもこれで世に出て先駆けになればいいなあと思って出ました。司会の方に耳打ちで付き合った人を言うとか、「もうやだあー!」とかやるのも、キャラをつくらなきゃいけないのがストレスだったんですけど。それはそれでお仕事として割り切って。ありがたいことにそれで好感を持っていただくことができました。

メディアに出ていて感じるのが、日本のセクシュアルマイノリティ、LGBTへの認識がまだまだゆるいというか、甘いというか、タブー化されているというか。私はメディアで取り上げる「オカマ」「オネエ」という扱い方をどんどん変えていきたいなと思っていて。だから色んな運動をして、ただ古い人はまだ受け入れられないんですね。そのために必要なのは私たち当事者が活動しなきゃいけない。LGBTを美しく見せてかなきゃいけない。だからぶっちゃけ「オネエ」という、このタレントのやり方は私はホントは好んでないです。結構NGを出します、いろんな番組で。それはうちの代表、会社もそうですけど、そこは綺麗に見せていきたいし、その認識でどうしても、うん…なんだろう、やっぱりどこへいっても化け物扱いされるというか。新宿2丁目(※2)の人が2丁目に閉じこもってしまうのも、そこから出られない、そこを出てしまったら、何か言われる、世間の目が気になる。じゃあ社会は何をしたらいかって言うと、それを普通にしたらいいんですよ。みんな普通にしたらいいと思うの。例えば学校にそういう子がいたら特別扱いするんじゃなくて普通、みんなと同じスタンス。会社でも例えば「あいつ元女だよな」じゃなくて「同じ男」。もう性というものを越えていかないと。日本はすごくそういう面では遅れていると思います。LGBTをバックアップするのって、たぶんすごく日本の進歩につながると思います。LGBTがもっともっとひろがれば、日本はもっと豊かな国になると思っています。

私はこうやってメディアに出て、「オネエ」って罵倒されても、芯を貫いた方がいいと思っていて、そうした方が馬鹿にされない。でもそういう風に見られるのってリスペクト(※3)がないからだと思う。でもそのリスペクトっていうのは小さいころから植えていかないとできないことだから。私はすごく母にリスペクトされました、兄にリスペクトされました、弟

にリスペクトされました、家の中でリスペクトは生まれます。家の中でリスペクトされた人は、外の人もリスペクトします。家の中で学ぶこと、覚えることってすごく大事で、家の中でされる扱ってすごく大事で、家の中で家族がセクシュアルマイノリティ、LGBTの子を受け入れてあげないと、その子は絶対殻に閉じこもったままです。もし家の中でカミングアウトされた時「なんで？あなたはそうじゃない」じゃなくて、3回深呼吸して「うんそっか」って受け入れてあげる。たとえ自分の中で消化するのが難しくても、「あなたはあなたでありなさい」「自分を愛しなさい」というその一言、うちの母みたいに軽い感じ。それができたらどんなに当事者は楽か。そのほんとに軽い感じが、それがうんそでも、もしやってもらえたら、その子は伸びます、うん2倍伸びる、たぶん。だってのびのび生きられるから、私みたいに。

ただ、まだ日本の社会、外に出た時にどうしたらいいかって言ったら、うーん、すごく難しいです。お堅い仕事についている人はすごく難しいと思うんですけど、外でははじめていいと思う。外では女装してもいいと思う、男装していいと思う、パートナーが男でも女でもいいと思う、その仕事が窮屈になったら辞めちゃっていいと思う。だって私みたいにホームレスになっても生きてカムバックしているんだもん。地を見た人は絶対にのぼれるし、上にのぼって下に落ちようと思えばいつでも落ちられます。だから当事者のみんなは自分を強く持ってほしいし、自分の性を恥じて欲しくない。そして絶対『障がい』ってつけちゃいけないと思います。性同一性のお子さんを持ったお父さんお母さんは幸せだと思った方がいいと思います。そんな子なかなか生まれれないんだもん。すごい特別。私、女の子になったことですごく不安定になることもあったし大変だけど、でもすごい幸せになったんですね。その時母に聞かれたの。「幸せ？」って。「チョー幸せだよ。だってやっと女子だよ」って言ったら、「もうママはそれが一番幸せ」って。やっぱり親って子どもの幸せをきつと一番に考えてると思うんです。私はホントにそう思ってた。だからきつとこの中にもお父さんやお母さんが認めてくれないんじゃないとか、ゲイである自分がいけないのか、なんでこんな風に生まれてきたんだろうとか、みんなと一緒にじゃないんだろうかと思ってる人がいるかもしれないけど、いいのそれで。それがあなたたちで、その幸せがたぶんご両親の幸せになると思う。私は



ね、この中から、政治家になったりとか教師になったりとか、それこそ同じメディアに出てくる…席狙わないでよ私の！オネエタレントだったりとか、いつかトランスジェンダー(※4)タレントになってくれればいいなと思ってるんだけど、まだね、オネエって言い方があれだけど…。出てきてくれればなあ。なんだろうな、私は『オネエ』『トランスジェンダー』『ニューハーフ』って言われますけど、今すごく幸せなんです。変な話この仕事がなくなったとしても、きっと私は素敵なパートナーを見つけられると思うし、きっと私は女性として幸せに生きていける、自分を殻に閉じこめないで自分を押しさえつけないで生きていける。だから頑張りたいなって思います。

まだまだ話し出したら止まらないけど、ひとつだけ会場に来てくださった方々に言いたいのは、私たちセクシュアルマイノリティの人たちは幸せに生きています。自分のことが大好きです。そうじゃない当事者のみんなは、自分を好きになってください、自分を一番に考えて自分を愛してください。そしてそのご家族はその当事者の方を愛してあげてください。すごくシンプルなことです。

『愛する』以上。

ありがとうございました！

- ※1 多数派とされる性のあり方とは違うアイデンティティを持つ人々のことを総称してセクシュアルマイノリティ、LGBTなどと呼ぶことがある
- ※2 主にセクシュアルマイノリティの方向けのバーやクラブなどが集中する新宿区にある街の一角
- ※3 尊敬し敬意を表すこと
- ※4 数多くあるセクシュアリティのうちの一つで、生まれ持った体の性別と心の性別が違うあり方のこと。

【プロフィール】

IVAN(アイバン) / ファッションモデル、ミュージシャン、タレント
父が日本人とスペイン人のハーフ、実母がメキシコ人のクォーター。2歳の時に奈良へ移住。カリフォルニア州の高校に進学。卒業後帰国し、モデル活動を始める。2004年にはパリコレのモデルに選ばれ世界のトップモデルとしても活躍。2013年テレビ番組で、自らトランスジェンダーであることを告白。以降トランスジェンダータレントとして活動している。

掲載しきれなかった講演会のお話をホームページで公開中です。ぜひご覧ください。

フレンテみえ

検索



6月
4日

フレンテまつり2016

with **イザ!カエルキャラバン!**

フレンテまつりは、フレンテみえ登録団体の活動発表・交流の場として毎年6月に開催している、フラダンスや人形劇などのステージ発表や団体の活動展示、フリーマーケットや体験ワークショップなど誰でも気軽に楽しめる内容が盛りだくさんの年に一度のおまつりです。

東日本大震災から5年となる今年は、「防災」について親子で楽しく学べる「イザ!カエルキャラバン!」のブースが仲間入り。災害時には、より一層「男女共同参画」の視点が大切になります。楽しく体験しながら、男女共同参画について、防災についてこの機会に考えてみませんか?

ぜひご家族・お友だちみなさんでお越しください。



※写真は去年の様子

日時：2016年6月4日(土)
10:00～16:00 ※雨天決行
場所：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
主催：フレンテみえ/フレンテまつり実行委員会
企画協力：NPO法人プラス・アーツ

かえっこバザールも開催!

～家にある「つかわなくなったおもちゃ」を
ほしいおもちゃと交換しよう!～

当日、家に眠っている「使わなくなったおもちゃ」を持ってきたり、フレンテまつりの各ブースに参加すると「カエルポイント」をためることができます。たまったポイントを使ってほしいおもちゃと交換できるのが「かえっこバザール」です!

子どもと、子どもの心をもった大人なら誰でも参加OK。お子さんやお孫さんにもぜひお声がけいただき、たくさんの使わなくなったおもちゃを持って、ご来場ください。



三重県内 男女共同参画 連携映画祭 2016

男女共同参画を身近に感じていただくため、三重県内市町とフレンテみえが共同開催している「三重県内男女共同参画連携映画祭」は多くの皆さまに支えられ、いよいよ10年目となりました。

今年も5つのセンターと22市町が連携し、県内22会場で開催します。

今年は、10年目を記念してフレンテみえでも上映会を開催!

(詳細は次号、情報誌Frente vol.66で発表します)

今年の上映スケジュール

主催市町	開催日	上映作品
朝日町・川越町	6/5(日)	救いたい
いなべ市	6/11(土)	愛を積むひと
亀山市	6/19(日)	あん
鳥羽市	6/19(日)	夫婦フーデー日記
多気町	6/19(日)	THE ダイエット!
四日市市	6/25(土)	アリスのままで
菟野町	6/25(土)	ペコロスの母に会いに行く
津市	6/25(土)	アナと雪の女王

主催市町	開催日	上映作品
明和町	6/25(土)	あん
鈴鹿市	6/26(日)	きみはいい子
伊勢市	6/26(日)	愛を積むひと
大台町	6/26(日)	はなちゃんのみそ汁
東員町	7/ 2(土)	ぼくたちの家族
伊賀市	7/ 2(土)	きみはいい子
名張市	7/ 3(日)	はなちゃんのみそ汁

主催市町	開催日	上映作品
桑名市	7/ 9(土)	あん
南伊勢町	7/ 9(土)	わたちの都〜ワッゲンオッゲン〜
松阪市	7/16(土)	ペンギン夫婦の作りかた
志摩市	7/18(月・祝)	あん
玉城町	7/30(土)	きみはいい子
御浜町 (東紀州地域共催)	7/31(日)	愛を積むひと

6月
5日

I LADY.in みえ

女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGO、ジョイセフをご存知ですか?そのジョイセフとフレンテみえが共催で「I LADY.in みえ」を開催します。

“自分の体を知り、自分らしい選択をする力”、そんな「I LADY.in」を三重の女性たちが体感するイベントです。ジョイセフの活動に賛同するアクティビストをゲストに迎えたトークイベントやチャリティーグッズの販売などを行います。ぜひイベントに参加し、あなたも「I LADY.in」を始めてみませんか。

「I LADY.in」とは? <http://ilady.world/>



実施内容:

◆登壇者とジョイセフ職員などによるトークイベント

◆ブース出展

血管年齢/骨密度/カラダのゆがみチェック/新女子カテスト/体の悩みチェック/チャリティーグッズ販売

◆トークイベント

11:00~12:00 **骨盤と心身のバランスを調整するヨガ** (60分)

講師:女性のためのヨガ協会 代表

仁平美香(にへいみか)さん

13:00~14:00 **LADY TALK 1**

~いざというときのために、女子力を高めよう~ (60分)

登壇者:モデル 堂珍敦子(どうちんあつこ)さん

女子学生団体Torch for girls 代表

櫻井彩乃(さくらいあやの)さん

15:00~16:00 **LADY TALK 2**

~あなたのリプロダクティブ・ヘルスのレベルは?~ (60分)

登壇者:産婦人科医 宋美玄(そんみひよん)さん

日時:6月5日(日) 11:00~16:00

会場:三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール

対象:大学生~30代の女性

料金:無料(物販等一部有料)

共催:国際協力NGOジョイセフ

6月
29日

地域リーダー養成講座

男女共同参画の視点から相談支援を考える。

DV・性暴力・貧困・虐待・ストーカー・性的マイノリティ・・・私たちの身近には様々な課題があり、それらによって苦しい思いをしている人々には適切な支援が必要です。そして、その支援の入口となるのが「相談」。特に、男女共同参画の視点からのアプローチは、相談者の力を呼び戻す大切な役割を果たします。

この講座では、ボランティアや福祉活動など地域で相談支援・住民サポートに携わる方やその活動に興味をお持ちの方を対象に、困難の背景に潜むジェンダー(社会的性差)による課題を読み解き、相談者が新たな一歩を踏み出すための対応について考えます。

昨年ご好評いただいた「地域リーダー養成講座」。今年は伊勢市で待望の開催です!

日時:平成28年6月29日(水) 13:30~15:30

会場:三重県伊勢庁舎4階 401会議室

対象:ボランティアや福祉活動など地域で相談に携わっている方。相談支援に興味のある方。(年齢・経験は問いません)

定員:先着30名

料金:無料

講師:加藤伊都子さん

(フェミニストカウンセリング堺 フェミニストカウンセラー)

平成28年度フレンテみえエンパワーメント・スクール

全3回

私の声も大事!/ 女性のための防災講座~入門編~

思ったことを素直に伝えることが難しいと感じることはありませんか。

日常生活のなかでは大丈夫でも、もし災害が起こった時、私や家族、大切な人たちを守るには、日々の生活のなかで感じている私の想いを「声」にして伝えることがとても重要です。

この講座では、災害後にどのような困難が起こるのかを東日本大震災の実例から学び、シミュレーションしながら、イザ!という時にしっかり私の声を届けるための練習をします。

あの震災から5年。「フレンテみえ」の新しい防災講座は、女性が必要な力を得てさらに一歩踏み出すための“エンパワーメント”をテーマにお贈りします。防災講座が初めての方、大歓迎!しもの時も「ガマンせずに声をあげる」ことのできる「私」になりましょう!

日時:平成28年 【第1回】7月9日(土) 13:00~16:00 「東日本大震災の事例から学ぼう」

【第2回】7月10日(日) 13:00~16:00 「こんな時どうしたらいい?」

【第3回】7月18日(月・祝) 10:00~15:00 「私の声」を伝える練習をしよう!

会場:三重県生涯学習センター4階 中研修室

対象:テーマに関心のあるすべての女性

定員:先着30名 ※全3回参加可能な方

料金:無料

講師:丹羽麻子さん(NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー)ほか

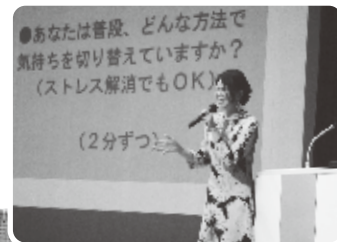
Event Report



働く女性のネットワーキング交流会

日時：1月31日(日)〈第1部講演会〉13:00~14:30 〈第2部交流会〉14:45~16:30

働く女性に役立ててもらえる講演会と交流を目的とした「働く女性のネットワーキング交流会」を実施しました。第1部は「感情の整理ができる女(ひと)は、うまくいく」の著者、有川真由美さんの講演会を行いました。「感情を変えることは難しいから、考え方や言葉を転換して感情の上書きをするといい」「お金があることより仕事があることが大事。自分を必要としてもらえることが幸せ」といった有川さん流の働くヒントをたくさんいただきました。第2部では、『生きがいのある働き方とは』などのテーマについて、グループで意見交換を行いました。終了後は参加者同士が名刺交換などし、名残惜しそうな様子でした。



ミエ・アート・ラボ 【演劇】ワークショップ

日程：2月6日(土)・7日(日)

三重県総合文化センターでは、全国的にも先進的な取組み「アート教育」の普及をめざして、さまざまな参加体験型事業を実施しています。2月に行った「ミエ・アート・ラボ」で2日間にわたり、男女共同参画を子どもたちに伝えるために、それぞれの個性と多様性を認め合う、『演劇』の手法を使ったワークショップの開発を行いました。参加者は大人ばかりにも関わらず、ワークショップを真剣に楽しみ、講師で俳優の南波圭さんは「ワークショップは失敗しても大丈夫な場。失敗したことをどう肯定するか。失敗を笑える力が必要」と話されました。今回の取組は今後も大切につなげていきます。



みんなで作るフレンテ交流会 フレレク! Frente-Recreation

日程：2月27日(日) 13:30~15:30

フレンテみえの登録団体、個人登録者向けの交流会をリニューアルして開催! イベントを通して、楽しみながらお互いのことをもっとよく知っていただけるように、今回は「餅つき」を実施。子ども連れの若い世代から定年世代まで、幅広い世代の方にご参加いただきました。子どもたちにとって餅つきをする機会は貴重なのか、楽しみながらお餅をついていました。

登録団体さんには餅つきに使う杵や臼を乗せる台座の作製と餅つきの実演やお抹茶体験をしていただき、みんなで一緒につくりあげる交流会となりました。

フレンテ交流会フレレク!は今年度も開催予定です。登録団体・個人登録のみなさんの得意分野を活かしながら、また、さらに楽しく交流を深めていければと思います。



「女性と音楽」

～クラシック音楽での女性史～

今年度は、今までとりあげられることの少なかったクラシック音楽史での女性の活躍についてのコラムをお届けします。最終回にあわせて、コラムにちなんだ曲をチェンバロの音色とともに楽しむミニコンサートも開催予定！今回から4回にわたるコラム、どうぞお楽しみください。

連載
第1回

『クラシック音楽で活躍したのは男性だけ？』

クラシック音楽と聞いて、思い浮かぶ音楽家は誰ですか？

バッハ、モーツァルト、ベートーベン…。授業で習ったり、音楽室の壁にかかっている肖像画を思い出してみると、男性ばかりが並んでいるような記憶があります。では、昔は女性は音楽と無縁だったのでしょうか。あるいは、クラシック音楽史でとりあげられるような才能のある女性は、今までいなかったのでしょうか。

実は、調べてみると優れた女性音楽家が多くいるのです。しかし、資料がほとんど残されていなかったり、「女性のつくるものは大したものではない」と言われて評価されなかったり…。今回から4回にわたり、そんな時代に音楽と共に生きたそれぞれの女性音楽家について、ふれてみたいと思います。

「アンナ・マグダレーナ・バッハ」

Anna Magdalena Bach 1701-1760 ドイツ

今回とりあげる「アンナ・マグダレーナ・バッハ(以下アンナ)」はバロック時代(日本は江戸時代)の音楽家で、よく知られている「バッハ」(ヨハン・セバスチャン・バッハ)の2番目の妻です。ピアノを弾く方なら、「アンナ・マグダレーナ・バッハのための音楽帖」という楽譜

集で名前をご存じの方がいるかもしれません。

アンナは宮廷音楽家の娘として生まれ、19歳の頃には宮廷に仕えるソプラノ歌手として有名でした。20歳でバッハと結婚、13人の子どもと前妻の4人の子ども、計17人もの子育てをしながらバッハの写譜や浄書を手伝っていたとされています。

当時は「教会で女性が声を発してはいけない」とされていたり、公式の催しには女性歌手の登場が許されなかったようです。しかし、非公式の場では時々演奏を披露していたようで、アンナが30歳の頃バッハが友人に送った手紙には「今の私の妻はなかなかよい澄んだソプラノを歌うゆえに」と綴られています。

実はバッハの曲のいくつかは彼女が作曲したのでは？という説もあるほど優秀な音楽家であったとされるアンナ。しかし、アンナについての資料が非常に不十分であり、あまりにも過小評価されることの多かった1人の女性の存在がここまでみえてきたのはまだ20世紀に入ってからのことなのです。

参考:「アンナ・マグダレーナ・バッハ 資料が語る生涯(マリー・ア・ヒューブナー編著・伊藤はに子訳)」(春秋社)



バッハの肖像画。アンナの肖像画はひとつも残されていません。

今年度も「ミニセミナー」シリーズを開催します！

昨年度に始まった「ミニセミナー」シリーズ。これまで講座で取り上げられなかった課題や、フレンテみえが最近気になっていることをテーマに1年間実施してきました。

昨年度のラインナップ

- 5月 社会に声を届けよう!女性のための政治入門塾
- 8月 働きたいママのための再就職応援カフェ
- 10月 女性のからだのプチ不調
～自分で整えるためのセルフケアレッスン～

- 11月 独身(シングル)のための座談会的カフェ
※好評につき2月にも追加開催しました
- 1月 男女の生き方は世界共通? 国際理解のためのテーブルトーク
- 3月 おもしろきこともなき世を おもしろく 輝け!非正規男子

※各回のイベントレポートをホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

[フレンテみえ](#)

[検索](#)

新しい知識や情報を得る場としてはもちろん、少人数制ならではの参加者同士が話しやすい交流の場となり、セミナー後に継続して活動していくグループも誕生しました。

またフレンテみえとしても、いろいろな立場の県民の皆さまの声を直接聞かせていただく貴重な機会となり、それぞれの当事者によって語られることの中に、改めて男女共同参画やジェンダーの課題を見出すことができました。このいただいた声を今後の事業に反映していきたいと思えます。

そして今年度も「ミニセミナー」シリーズを開催いたします!ラインナップは下記のとおり。皆さまのご参加をお待ちしております。

今年度のラインナップ

- 7月6日(水) 10:00～12:30
育休ママのつらい子どもができたあなたへ。
『育休中に描くママのこれからの働き方』
- 8月27日(土) 13:30～15:30
社会に声を届けよう!女性のための政治入門塾 vol.2
- 10月22日(土) 13:30～15:00
女性のこころと体セミナー
更年期&プレ更年期を乗り切るために

- 12月3日(土) 15:00～16:30
独身(シングル)のための座談会的カフェ
- 2017年1月18日(水) 10:00～12:00
結婚生活が息苦しい・・・モラハラについて考える
- 2017年3月11日(土) 14:00～16:30
スイーツ男子第1弾 英國式アフタヌーンティの巻

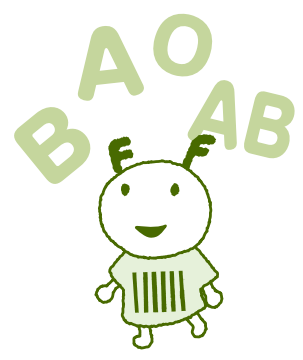
各回とも定員は8～10名程度。参加無料(スイーツ男子のみ要材料費500円程度)。詳細はチラシ・ホームページをご覧ください(各回2～3か月前に発表予定)。

第1回

【新連載】ジェンダーって何？

もし血液型で就ける仕事が決まっていたら？

みなさんは普段、血液型の話で盛り上がることはありませんか？
 「やっぱりA型？几帳面だし、そうだと思った！」「B型って気分屋だから、合わないんだよね」などなど。血液型によって人の性質を当てはめることがあります。そして真偽はどうであれ、日常でこれだけ話題に出るということは、多少なりとも血液型診断を信じている人が多いということでしょう。



では、血液型によって性質が違うのだから、「〇型の人はその性質に適した仕事をしてください」と決められていたらどうでしょうか。たとえば「A型は几帳面だから、経理はA型の仕事」、「A B型は独創的だから、企画はA B型の仕事」などと決められてしまうと、A型の人は企画の仕事がしたくても、それはA型の仕事ではないのでできなくなってしまいます。

そんな社会はおかしいですね。
 では血液型を性別に置き換えたらどうでしょうか。

誰もが男女平等は当たり前と思っているかもしれませんが。しかし実は性別によって役割が与えられていることが多くあります。
 顕著なのが「男は仕事、女は家庭」という役割です。いまやひとり(多くの場合は夫)が稼いで家族を養う片働き世帯数を、共働き世帯数が大きく上回っています。しかし専業主婦の妻を持つ夫の家事時間と共働きの夫の家事・育児時間に大差はありません(※1)。妻が仕事をしても、家事・育児は圧倒的に妻が担っているのです。

そして家事・育児があることにより、女性は仕事に責任をもたないとみなされることが多くあります。結果、男性は仕事に打ち込んでも家庭をもつことはできますが、女性は仕事に打ち込むためには家庭を諦めなければならない場合があります。逆に子育てにもっと関わりたい男性が、会社での評価が落ちることを恐れ、定時に帰ったり休みをとったりすることを諦めなければならないという場合もあります。

このように現在の日本の社会では、性別によって役割があるということを前提に仕組みができていたり、制度は男女の区別がなくても、たとえば育児休暇のように男性も取れるけど実際は取れないような雰囲気や見えない圧力をかけられたりします。

もちろん「男は仕事、女は家庭」でうまくいっている家庭もあるでしょう。それもひとつの価値観であり、ひとつの選択肢です。個人でそのスタイルを選択するのは自由です。

しかしその価値観を前提としてつくられる社会はどうでしょうか。それは血液型によって仕事が決められてしまう社会と同じではないでしょうか。

この「性別によって役割がある」「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という考え方を「ジェンダー」といいます。次回はこの「ジェンダー」についてもう少し詳しくお話しします。

※1 夫婦と子どもの世帯で、①専業主婦を妻に持つ夫の1日の家事関連時間は46分、②共働きの夫は39分(総務省「平成23年社会生活基本調査 生活時間に関する結果」より)

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！
 ～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど・・・
 男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

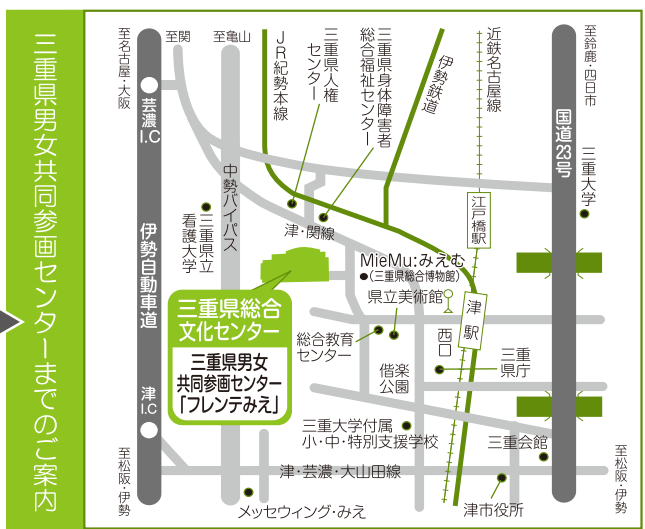
女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※ 祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)
 交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分 ■徒歩/津駅西口から約25分 ■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分 ※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター 三重県男女共同参画センター フレンテみえ
 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
 TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
 URL http://www.center-mie.or.jp/frente/
 E-mail: frente@center-mie.or.jp